



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社中央製作所 上場取引所 名
 コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼研究開発部長 (氏名) 柘植 良男 TEL 052-821-6166
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	781	40.2	112		107		97	
2019年3月期第1四半期	1,306	43.2	6		3		2	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 105百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	125.92	
2019年3月期第1四半期	3.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,031	2,172	43.2
2019年3月期	5,398	2,297	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,172百万円 2019年3月期 2,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		25.00	25.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,920	28.4	110		105		95		122.78
通期	4,400	19.9	25	89.6	30	88.6	20	90.4	25.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	784,300 株	2019年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	10,557 株	2019年3月期	10,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	773,743 株	2019年3月期1Q	773,993 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦問題の長期化などに伴う世界経済の停滞懸念により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方わが国経済は、雇用環境や所得環境に改善が見られるものの、外需の低迷等により製造業を中心に景況感が悪化している状況となりました。

こうした経済情勢の中で、当社グループは新規顧客の獲得、既存顧客への新価値提供のため新製品、新技術の開発に注力するとともに、競争力強化のためのコスト低減等に取り組み、国内需要にとどまらず海外での需要に積極的に対応し需要の掘り起こしに注力してまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の受注高は868百万円（前年同四半期比41.2%減）、売上高は781百万円（前年同四半期比40.2%減）となりました。損益については、営業損失112百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）、経常損失107百万円（前年同四半期は経常利益3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失97百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円）の計上となりました。

今後におきましては、国内製造業における人手不足や設備老朽化を受け、合理化・省力化投資や更新投資の需要に対して積極的な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、電池業界を中心に自動車関連業界ならびに電子業界等でも様々な仕様にお応えし、受注の確保に取り組んでまいりました。汎用電源では、高効率の電力変換を実現した新型直流電源装置を新たに市場へ投入し、シェアアップをはかるとともにパワーマスター（当社グループの商品名）シリーズの特殊仕様への対応などにより様々な用途に応じた注文にもお応えできるよう取り組んでまいりました。しかし結果は、受注高は357百万円（前年同四半期比27.4%減）、売上高は206百万円（前年同四半期比57.6%減）といずれも大きく減少いたしました。

今後につきましては、高効率の新型直流電源装置のラインアップの拡大やサイリスタのデジタル制御による通信機能搭載機の拡大などにより、多様な市場のニーズに応え、電源機器の受注・売上の拡大を目指してまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、新規及び更新需要の掘り起こしに注力しました。また、改造や修理メンテナンス案件に対しても積極的に取り組んだものの、受注高は174百万円（前年同四半期比61.1%減）、売上高238百万円（前年同四半期比55.0%減）といずれも大きく減少いたしました。

今後につきましては、生産現場における省力化・省人化需要に対する積極的な技術提案を行い、更新・改造案件の掘り起こしを積極的に進めるとともに、新規設備需要に対しては、IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社グループの商品名）の提案を推進し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内自動車関連業界、鋼製家具業界、電装機器業界、建設資材業界などを中心に、新規および増産需要に対して積極的に取り組んでまいりました。一方、海外につきましても海外代理店との連携を密にして電子部品業界を中心とした積極的な拡販に努めてまいりましたが、米国との貿易摩擦の影響などによる中国経済の減速により、受注高は186百万円（前年同四半期比31.5%減）と大きく減少しました。売上高は170百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

今後につきましては、新たに市場投入いたしました新型溶接電流計、新型インバータ溶接電源および新型インバータ溶接機のシェア拡大を目指し、国内外を問わず市場の開拓に努めてまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、表面処理装置に付帯する機器として、販売に取り組んでまいりました。その結果、受注高は85百万円（前年同四半期比88.9%増）と大きく増加しましたが、売上高は46百万円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%減少し4,082百万円となりました。これは、主として原材料及び貯蔵品が49百万円、現金及び預金が46百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が513百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し948百万円となりました。これは、主として投資その他の資産が10百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%減少し5,031百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.6%減少し2,359百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が129百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し499百万円となりました。これは主として退職給付に係る負債が10百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.8%減少し2,859百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し2,172百万円となりました。これは、主として利益剰余金が116百万円、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期および通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました内容を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,166,117	1,212,746
受取手形及び売掛金	1,750,548	1,236,631
電子記録債権	562,655	567,570
商品及び製品	59,982	56,012
仕掛品	784,981	806,825
原材料及び貯蔵品	94,344	143,929
その他	21,863	58,769
貸倒引当金	△650	-
流動資産合計	4,439,844	4,082,485
固定資産		
有形固定資産	280,216	280,248
無形固定資産	52,135	52,702
投資その他の資産	626,034	615,983
固定資産合計	958,387	948,934
資産合計	5,398,231	5,031,420
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,170,372	1,041,361
短期借入金	740,000	740,000
未払法人税等	40,415	2,010
その他	630,189	575,777
流動負債合計	2,580,976	2,359,149
固定負債		
役員退職慰労引当金	116,200	110,600
退職給付に係る負債	343,424	333,062
その他	60,244	56,313
固定負債合計	519,869	499,975
負債合計	3,100,845	2,859,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,424,475	1,307,703
自己株式	△15,724	△15,724
株主資本合計	2,137,337	2,020,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,660	144,660
為替換算調整勘定	6,387	7,070
その他の包括利益累計額合計	160,048	151,730
純資産合計	2,297,385	2,172,294
負債純資産合計	5,398,231	5,031,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,306,501	781,121
売上原価	1,042,416	650,896
売上総利益	264,084	130,224
販売費及び一般管理費	270,228	243,135
営業損失(△)	△6,143	△112,911
営業外収益		
受取利息	199	196
受取配当金	4,732	4,912
持分法による投資利益	3,966	2,788
為替差益	494	-
その他	1,505	451
営業外収益合計	10,898	8,348
営業外費用		
支払利息	1,400	1,452
為替差損	-	394
その他	202	1,011
営業外費用合計	1,603	2,858
経常利益又は経常損失(△)	3,151	△107,421
特別利益		
固定資産売却益	-	10,438
特別利益合計	-	10,438
特別損失		
固定資産処分損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,151	△96,983
法人税、住民税及び事業税	464	469
法人税等調整額	-	△23
法人税等合計	464	446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,687	△97,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,687	△97,429

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,687	△97,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,857	△9,000
為替換算調整勘定	△556	682
その他の包括利益合計	△14,413	△8,317
四半期包括利益	△11,726	△105,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,726	△105,747
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	266,825	△35.6
表面処理装置	171,545	△59.0
電気溶接機	152,523	△18.7
環境機器	45,680	△18.1
その他	72,686	△28.9
合計	709,262	△39.8

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	357,061	△27.4	501,302	△27.9
表面処理装置	174,646	△61.1	768,217	8.8
電気溶接機	186,394	△31.5	143,847	△55.7
環境機器	85,915	88.9	55,428	71.3
その他	64,944	△70.3	174,469	△42.7
合計	868,961	△41.2	1,643,263	△20.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	206,670	△57.6
表面処理装置	238,421	△55.0
電気溶接機	170,631	15.4
環境機器	46,841	△21.5
その他	118,556	45.3
合計	781,121	△40.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。